

造血幹細胞移植後再入院患者のリハビリテーション介入が身体機能・ADL・転帰に与える影響：後ろ向き観察研究

1. 研究の対象

2011年1月～2024年12月に国立がん研究センター中央病院で血液腫瘍に対する造血幹細胞移植を受け、その後再入院し、リハビリテーションを実施した10歳以上の方

2. 研究目的・方法

研究目的：造血幹細胞移植後に再入院し、リハビリテーションを実施した患者の身体機能、日常生活動作 (Activities of Daily Living:ADL) の変化と転帰先を明らかにする。

研究方法：研究対象者の診療録から治療歴などの診療情報を抽出し、解析を行います。

研究実施期間：研究許可日～2029 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、生活動作能力等

試料：無

4. 試料・情報の授受

本研究では他の機関に試料・情報の授受はございません。

5. 研究組織・研究責任者

国立がん研究センター中央病院 理学療法士 横田翔太

6. お問い合わせ等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

〔照会先および研究への利用を拒否する場合の問い合わせ先〕

機 関 名：国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室
住 所：〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
電 話 番 号：03-3542-2511（内線：2946）
研 究 責 任 者：横田 翔太（理学療法士）